



MIYOSHI
CENTRAL HOSPITAL

第29号
2017年10月



市立三次中央病院だより

花みずき

2017.
5.30・31

ふれあい看護体験の開催

高校生が参加して、みんな笑顔でいっぱいになりました。



2017.
7.14

グリーンカーテンを利用して

院内保育所の元気な子供たちが、
当院敷地内で栽培しているミニトマトの収穫に来てくれました。

2017.
6.28

減塩教室と栄養相談

玄関ロビーに展示して沢山の方に見て頂きました。



基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され
親しまれる病院を目指します





病院長
中西 敏夫

挨拶の冒頭、最近は異常気象に触れることが多くなりました。

「観測史上初めて」「50年ぶり」などの記録づくめです。記録的短時間大雨情報という聞き慣れない情報が発令され、1時間に100ミリを越す集中豪雨も希ではなく、各地で被害が発生しています。土砂崩れ、堤防の決壊、道路の冠水など報道される映像は目を覆うばかりです。せめて情報は的確・迅速に伝達され人命の失われなことを祈るばかりです。

病院の収支

平成28年度の病院事業会計決算は、事業収益約86億4,300万円、事業費用約85億3,800万円、差し引き収支は約1億500万円となりました。平成28年度は診療報酬改定の影響および秋以降入院患者数の減少により病床稼働率が低下し、入院収益が下がりましたがそれでも約1億円の黒字となり、企業債残高(病院の借金)は約40億円と昨年より約5億円減少となっています。

平成30年度は診療報酬・介護報酬の同時改定、保健医療計画・介護保険事業(支援)計画および国民健康保険の都道府県化もスタートするため、医療行政関係者の間では「惑星直列」と呼ばれています。こうした一連の改革は、いわゆる2025年(団塊の世代が後

期高齢者になる)前にドラステイックなパラダイムシフトが起きる、あるいはその準備のために起こさないとけないと厚労省のトップは考えているようです。消費増税がないなか、来年度の診療報酬改定は実質マイナスになることは想像に難くなく、病院の運営、特に経営面では困難が予想されます。

自治体病院表彰

うれしいお知らせは平成29年度自治体立優良病院会長表彰を受けました。詳細は別項に記載しています。全国自治体病院協議会の会長は邊見先生、赤穂市民病院の名誉院長です。赤穂市民病院とは浅野家のご縁で平成19年に姉妹病院提携をしており、表彰式の席上で赤穂市民病院の病院祭に誘われまして。7月8日(土曜日)三次から中国自動車道をのんびりと走って2時間半(約200km)で赤穂に到着しました。「のぞいてみよう医療の世界」をテーマに、病院祭が開催されていまして。今年で16回目、何年前なのでしょう。故末永院長もステージで「三次どんちゃん」を踊ったそうです。当日は汗ばむ快晴、多くの家族連れが参加し賑わっていました。午前中だけの催しでしたが各部門が趣向を凝らしており、ボランティアによる演奏会、ドッグ訪問などの催しおよび検診センター、内視鏡センターなどの入った新館の内覧会場を案内されました。当院も、毎年は無理でも市民参加の病院祭を開催し、もう少し親しまれる病院づくりを目指していきたいと感じながら帰途についた一日でした。

働き方改革

政府は今年3月、「働き方改革実行

計画」を策定し、長時間労働の是正に向け、罰則付きという思い切った時間外労働の上限規制を法制化します。背景には、一昨年末の大手広告会社員の自殺、大手広告会社のブラック企業の実態が合わせて判明し、メディアも大きく取り上げました。もちろん医師も対象です。ただし医師は、上限規制が5年間猶予されました。「医師の働き方改革に関する検討会」本部長を務める鈴木医師技監は、「あまり厳格なルールを適用すると」「救急医療や入院医療をやめる例も出てきかねない」とし、医師の働き方改革の議論に資するデータを得るため、病院種別や診療科別などの医師の勤務実態調査を実施する予定であることを公表しています。

日本病院会の地域医療再生に関するアンケート調査(平成27年)平成28年5月の報告書には、「日本の医療は、依然として、労働基準法違反を前提にした勤務医の過重労働とそれを追認せざるを得ない病院運営の上に成り立っており、医師を含めた医療従事者の勤務環境の改善は、地域医療の確保にとっても、健全な病院経営にとっても疎かにはできない重要な問題である」と言える。いずれにしても、国民が安心できる医療提供体制の構築のためには、勤務医不足を解消し、地域偏在を是正することが必要であり、何にも増しての最優先の課題となっている。「現状の課題がこのように述べられています。時間外労働は労働基準法第36条により労使間で協定を結び(36協定)労働基準監督署に届け出る必要があります。原則として1カ月45時間・1年間360時間ですが、限度時間を超えて延長しなければならぬ特別な事情が生じた時への対策として「特別条項付き36

協定」を結ぶなど、例外取り扱いも規定されています。日本で最も高度・先進的な医療を提供している病院の一つである国立循環器病研究センターは時間外労働時間の上限を特別の事情がある場合、医師は「月300時間、年2070時間」という「36協定」を締結していると報道されました。さすがに驚くべき条件です。当院の医師の場合、最大月120時間、年間990時間で届け出ています。

最近、多くの病院に労働基準監督署の監査が入っています。聖路加病院では未払いの時間外労働の賃金10数億円を支払っています。研修医の過労自殺が起こった新潟市民病院の院長は「研修医の時間外は研修が仕事かなど時間外労働をどのように評価するのか極めて難しい問題」と述べています。

厚生労働省の2018年度重点施策は(1)働き方改革の着実な実行(2)質の高い効率的な保健・医療・介護の提供の推進(3)全ての人が安心して暮らせる社会に向けた環境づくりです。そのなかで医療従事者等の業種ごとの勤務環境の改善等に48億円の予算を概算要求しています。

どのような改善策ができればか、よい処方箋はあるのでしょうか。厚生労働省はよい答えを出してくれることを期待しています。

当院は幸い広島大学の支援で医師不足という状況ではありませんが、過重労働になっている診療科や医師は存在します。さすがに看護師のように交替制勤務は困難です。リフレッシュ休暇や診療業務が終われば勤務時間内でも届け出て休みを取ってもらっています。過労死や事故が起きないことを切に願っています。

平成 29 年度自治体立優良病院会長表彰を受けました。

全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会（加入数879病院）は、地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全性が確保されている自治体立の病院を表彰しています。

平成29年度は市立三次中央病院のほか11の自治体病院が表彰されました。なお、同表彰は平成5年度に続き2回目の受賞です。

市立三次中央病院が表彰を受けた特徴は次のとおりです。

- ・備北二次医療圏のみならず、隣接市町や島根県南部にわたる広域の二次救急を担っている。
- ・三次市における医療連携の充実を目的に平成17年8月に「三次市四病院連絡協議会」を設立し、機能の異なる四病院が職種ごとにワーキングを行い、三次市の医療水準の向上に努めている。
- ・広島県へき地医療拠点病院として診療所等へ医師を派遣し、へき地における医療の確保を支援している。この受賞に驕ることなく、引き続き地域医療の確保に重要な役割を果たし、かつ、経営の健全性を確保していきます。



表彰式の様子
左は中西病院長、右は邊見会長

この表彰の主な選考基準は次のとおりです。

1. 地方公共団体、または地方独立行政法人が開設し、経営していること。
2. 経営の健全性の確保については次の基準による。
 - ・表彰年度の前々年度以前5カ年以上、損益計算書上の経常損益において利益を計上していること。ただし、他会計繰入金が各年度における基準額を超えている場合にあつては、その超過額を控除して損益計算を行うものとする。
 - ・不良債務及び累積欠損金がないこと。
3. 経営努力の状況は、職員配置、薬品・材料の購入や業務委託等の状況を総合的に判断する。
4. 地域医療に果たしている役割の状況は、救急医療、他の医療機関との連携、へき地医療等の状況を総合的に判断する。

「診療情報開示カード」を 広島県共通の「HMカード」に統合します。

市立三次中央病院では、診療情報を他院等で参照するための「診療情報開示カード」を独自に発行していましたが（※1）、このたび広島県共通カードである「HMカード」に統合することになりました。

HMカードは、広島県と広島県医師会が運営するひろしま医療情報ネットワーク（Hiroshima Medical Network）が発行するカードで、あなたの医療情報を複数の医療機関と結びつける“ひろしま県民のためのカード”です。



追加される機能

- 救急・災害時の情報共有 ●在宅医療・介護での情報共有
- 地域連携パス ●ひろしま健康手帳 ●ひろしまヘルスケアポイント（※2）

※1 市立三次中央病院「診療情報開示カード」をお持ちの方は「HMカード」に交換できます。

※2 HMカードのIDでパソコン、スマホから「ひろしま健康手帳」ページに登録し、取組みを入力すると、獲得ポイントに応じて「フレスタのスマイルポイント」「アヲハタジャムの詰め合わせ」などプレゼントや割引の特典があります。詳しくは「ひろしま健康手帳」(<http://www.hm-net.or.jp/hm-card/kenkou-techou.html>)をご確認ください。

今ならカープデザインの
カードも選べます。

【お問い合わせ先】
市立三次中央病院 医事課
電話：0824-65-0101 FAX：0824-65-0159

患者満足度調査結果について

平成29年7月・8月に「患者満足度調査」を実施し、入院患者205人・外来患者494人の皆さんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた項目ごとに、当院に対する満足度を100点満点で評価しました。

入院・外来の点数の高い順位と低い順位の各項目について、主な結果をお知らせします。

また、自由記入欄へ、施設や診療、接遇全般にわたって、たくさんのご意見やご要望をいただきました。できるところから改善を図り、患者さんに信頼され親しまれる病院づくりに取り組んでまいります。

入院



高い評価

満足
1

医師の態度や
言葉づかい

83.6点

満足
2

看護師の態度や
言葉づかい

82.6点

満足
3

医師の症状に対す
る処置の適切さ

80.0点



低い評価

不満
1

トイレ

58.2点

不満
2

売店

59.2点

不満
3

自動販売機

60.1点

入院では、医師や看護師等の接遇面で高い評価をいただき「医師や看護師の方々は、とても優しく満足しました」等お褒めのコメントをいただきました。「医師の症状に対する処置の適切さ」も高い評価を得ていることから、安心してご入院していただいていると感じております。

しかし一方「看護師の資質に差があります」などのご意見もありましたので、今後も医療の質の向上に努めてまいります。

今回の調査からトイレ、売店、自動販売機などを独立した項目に分けました。

その結果、入院患者さんにとっての不満の第1位はトイレとなりました。

トイレの空間が狭い、などの意見をいただきました。スペースの関係から改修は困難ですが、日常の点検・清掃等清潔に保つよう注意してまいります。

また、自動販売機について、要望がありましたので場所・台数等を検討してまいります。

外来



高い評価

満足
1

医師の態度や
言葉づかい

73.7点

満足
2

看護師の態度や
言葉づかい

73.3点

満足
3

・検査技師の態度や言葉づかい
・看護師の説明のわかりやすさ
・医師の症状や検査結果の説明

72.7点

72.7点

72.7点



低い評価

不満
1

診療待ち時間

47.2点

不満
2

駐車場の広さ
入りやすさ

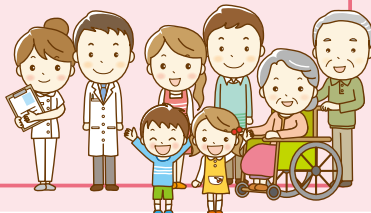
58.1点

不満
3

時間面全般に
ついて

58.4点

外来においては、入院ほどではないにしても、医師や看護師・検査技師の態度や言葉づかいで高い評価をいただきました。その他「放射線技師の態度や言葉づかい（72.3点）」「総合案内や会計の対応（71.8点）」といった接遇面に高い評価をいただきました。



不満の1～3は順位は変わるものの昨年度と同じ項目でした。

外来の「診療待ち時間」は、原則予約診療を実施していますので、初診などで予約がない場合は、お待ちいただく時間がどうしても長くなりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

駐車場については、1台当りのスペースが狭いとのことご意見をいただきました。駐車台数との兼ね合いの中でより使い勝手がよくなるよう、検討を進めてまいります。

連載 がんの治療 20

外科医長 橋 詰 淳 司

乳がん

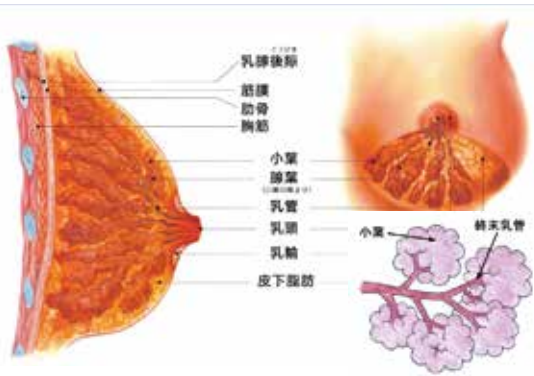
【はじめに】

乳がんになる方は年々増えており、2016年では90000人の方が乳がん罹患されたと予想されています。これを累計すると、日本人女性の11人に1人は生涯乳がんを発生する計算になります。その罹患率は1994年以降第1位であり、女性が最も気をつけないといけないがんとなっています。

【乳がんの特徴】

乳腺組織は乳汁の通り道である乳管と、乳汁を産生する小葉で構成されていますが、乳がんの多くは、これらの結合部である末梢乳管小葉結合部で発生すると言われています。ここから発生した乳がんは、しばらくは乳管の中

乳房の構造

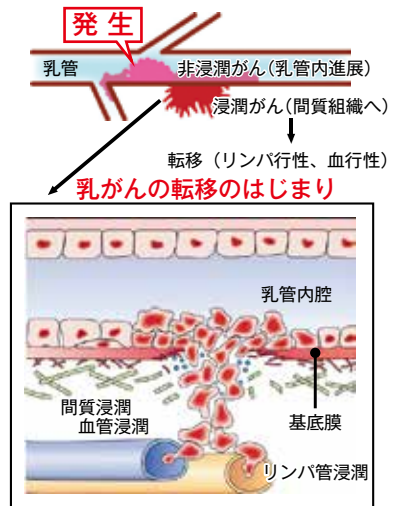


【治療】
まずは病巣を取り除くために手術を行うことが必要です。手術の目的は、がん細胞を減らすことと、がんの性質を調べることです。特に後者が重要で、これによりがん細胞の悪性度、核の異型性や再発の危険度、「全身療法」としての治療薬剤の感受性を知ることができます。手術方法は乳房全体を取り除く乳房切除術と、しこりを含む乳腺の一部を切除する乳房温存術があります。これらは病巣の広がりや、患者さんの希望、放射線療法使用の可否などにより、相談して

を広がる形で成長していきます（非浸潤性乳管がん）が、いずれは乳管を破ります。（浸潤性乳管がん）乳管の外に出ますと、がん細胞は周囲の間質を通じて、血管の中に入り込み、血流によって他の臓器に移動して、そこに居着いて増殖する変化が生じます。これを転移といいます。乳管にがん細胞が生じて、転移を起すまでは、通常十数年の歳月をかけて、ゆっくり大きくなるというのが乳がんの特徴です。ただし、一旦乳管を破ってまわりに浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

【転移】
乳がんはリンパ管や血管を通じて、転移を起すことができます。転移は乳管を破って、周囲に浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

乳がんの進展

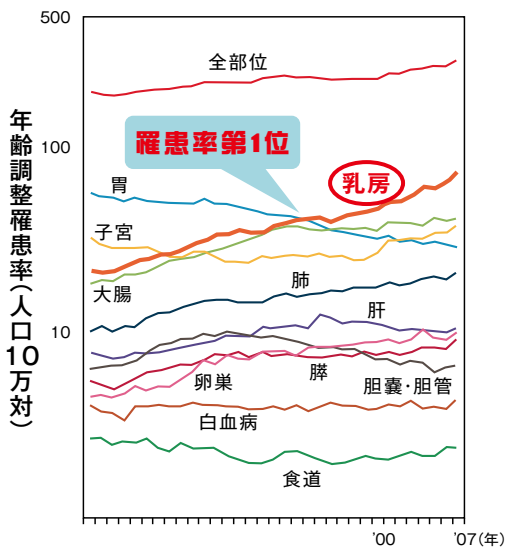


【転移】
乳がんはリンパ管や血管を通じて、転移を起すことができます。転移は乳管を破って、周囲に浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

決定します。また、最近では希望があれば乳房切除後に乳房再建なども保険適応でできるようになりました。手術が終われば、手術結果が出ますと、『全身療法』の治療計画が立てられます。がん細胞の性質によって、ホルモン療法のみの方、抗がん剤（±分子標的薬）のみの方、抗がん剤（±分子標的薬）を行った後ホルモン療法を併用する方などに分かれ、温存術を行った方やリンパ節転移が多かった方には放射線療法を加えたりします。ホルモン療法は5〜10年、抗がん剤は3〜6ヶ月、分子標的薬は1年間治療を行います。

【転移】
乳がんはリンパ管や血管を通じて、転移を起すことができます。転移は乳管を破って、周囲に浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

女性のがんの部位別罹患率の推移



乳がんは女性に最も多く発生するがんです。近年は増加傾向にあり、2016年には9万人が罹患したと推定されています。乳がんはリンパ管や血管を通じて、転移を起すことができます。転移は乳管を破って、周囲に浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

乳がんは女性に最も多く発生するがんです。近年は増加傾向にあり、2016年には9万人が罹患したと推定されています。乳がんはリンパ管や血管を通じて、転移を起すことができます。転移は乳管を破って、周囲に浸潤したがんは、比較的早期な段階でも、血管内に侵入しているといわれています。そのため乳がんは「全身病」といわれ、その治療には局所療法である手術や放射線療法だけでは不十分な事が多く、ホルモン療法や抗がん剤、分子標的薬などの「全身療法」が必要だといわれる理由となっています。

気をつけないといけないがんですが、早期で発見すると完治する可能性がかなり高いがんですので、それほど怖いがんというわけではないと思います。ただし早期発見するためには、2年に1度で良いですので乳がん検診を受ける必要があります。三次市は平成26年度より検診受診率が低下しており、そのため進行した乳がんが増えてしまうのではないかと危惧しています。みなさん検診を受けましょう。

国立がん研究センターがん対策情報センター (http://ganjoho.ncc.go.jp/professional/statistics/statistics.html)



アトピー性皮膚炎について

皮膚科主任医長
平島 昌生

アトピー性皮膚炎とは？

アトピー性皮膚炎は、よくなったり悪くなったりを繰り返す「かゆみのある湿疹」を主病変とする疾患です。多くはアトピー素因をもつとされています。

アトピー素因とは、家族や自身に気管支喘息やアレルギー性鼻炎・結膜炎、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患になる素質があることをさします。

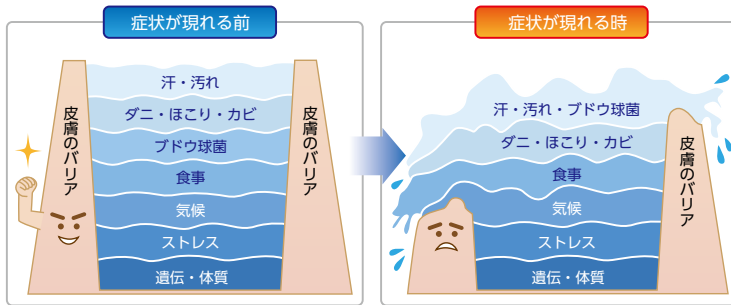
乳児期から小児期に多く、軽症で経過すれば10歳頃にはだいたい自然軽快します。一方、重症の場合では症状は軽減しても長く続きやすく、また一旦軽快しても、思春期以降にぶりかえすことがあります。近年では65歳以上の高齢者にも増加しています。

どんな症状が出るの？

病態としては、皮膚バリア異常、アレルギー炎症、かゆみが互いに影響しあっています。「皮膚バリア異常」があると、外界からの刺激やアレルギーが入りやすく炎症がおきやすくなります。最近では、遺伝的に皮膚バリアの弱い人がいることが研究されています。

アトピー性皮膚炎の症状が現れる時

イメージ図



(第一三共ヘルスケアHPより引用改編)

どんな治療法があるの？

治療としては、①悪化因子の検索と対策、②スキンケア、③薬物療法があります。

原因・悪化因子



(アトピー性皮膚炎治療ガイドラインより引用改編)

①悪化因子への対応

日記をつけるなどで悪化する原因(因子)をさぐることから始まります。食物、汗、乾燥、物理・化学刺激、環境アレルギー、細菌・真菌、ストレスなどがその代表的な悪化因子です。そして、悪化因子を意識した生活環境の整備や日常生活の過ごし方について指導を受けることとなります。たとえば、汗対策やベットの飼育対策、ストレス回避などです。

②スキンケア

皮膚の水分含有量が低下し、かゆみで皮膚を引っかいたり、こすったりすることで、いっそう皮膚バリアが低下します。皮膚の清潔と保湿を行うことは、細菌の侵入を防ぎ、バリア機能の改善に重要です。シャワーや入浴は有効ですが、シャンプーや石鹸を用いた頻回な洗浄や、こすり洗い、こすり拭きを避けて、皮膚をやさしく扱い、清潔を保つことが重要です。

③薬物療法

外用薬と内服薬があります。外用薬は保湿剤、ステロイド外用薬、免疫抑制外用薬があり、特にステロイド外用薬は

皮膚症状の程度、部位、年齢に応じて適切な薬を使い分ける必要があります。内服薬は抗ヒスタミン薬(いわゆる痒み止め)を使用し、難治例に限り免疫抑制外用薬を使用することもあります。

※外用療法
非常に有効な治療法です。ただ現実には塗るとベタツキを感じたり、時間と手間もかかるため、症状の強いうちはきちんと塗ってもらえませんが、良くなってくると面倒に感じてくる人も多くなります。

いかにして塗ってもらうかは外用薬の永遠のテーマであり、ユニークな外用指導や塗りやすい薬の使用、病勢を数字で判定できる検査などを用いつつ、積極的かつ粘り強く治療を継続してもらうことが重要です。

	外用薬	内服薬
軽症	ステロイドを含まない外用薬 必要に応じてステロイド外用薬(マイルド以下)	必要に応じて 抗ヒスタミン薬 抗アレルギー薬
中等症	2歳未満 ステロイド外用薬(マイルド以下) 2歳~12歳 ステロイド外用薬(ストロング以下) 13歳以上 ステロイド外用薬(ペリーストロング以下)	必要に応じて 抗ヒスタミン薬 抗アレルギー薬
重症	2歳未満 ステロイド外用薬(ストロング以下) 2歳~12歳 ステロイド外用薬(ペリーストロング以下) 13歳以上 ステロイド外用薬(ペリーストロング以下)	必要に応じて 抗ヒスタミン薬 抗アレルギー薬
最重症	2歳未満 ステロイド外用薬(ストロング以下) 2歳~12歳 ステロイド外用薬(ペリーストロング以下) 13歳以上 ステロイド外用薬(ペリーストロング以下)	必要に応じて 抗ヒスタミン薬 抗アレルギー薬 ステロイド(必要に応じて一時的に)

※原則として一時入院

(アトピー性皮膚炎治療ガイドラインより引用)

心臓リハビリテーションについて

心臓リハビリテーション指導士 吉川 陽 樹

◇心臓リハビリとは…

心不全や心筋梗塞などの心臓の病気をされると、様々な問題が生まれてきます。その中で、心臓の病気をされた方が充実した生活を取り戻すための治療の一つ、運動療法が『心臓リハビリテーション』です。

◇心臓リハビリの効果

心筋梗塞などの心臓病の患者さんが運動療法を行うことにより、動作が楽になり、快適な生活を長く続けることができるようになります。

運動療法の効果について述べます。

- 運動能力が増加し、楽に動けるようになる。
- 狭心症や心不全の症状が軽くなる。
- 不安やうつ状態が改善し、快適な社会生活を送ることができる。
- 動脈硬化の進行をくい止めたり、動脈硬化を予防する。
- 血管が自分で広がる能力(血管内皮機能)や自律神経の働きがよくなり、不整脈が減り、血圧が安定する。
- 心筋梗塞の再発や突然死が減り、死亡率が減少する。

◇心臓リハビリの実際

20年ぐらい前までは、心筋梗塞など心臓病の人は動かさないうようにするのが治療の基本でした。しかし今では、特別の合併症がない限り、むしろ体を動かすことを考えます。

ただし、いきなり激しい運動は行えませんし、どの心臓病でも運動が可能…というわけでもありません。

運動療法を開始する場合、心電図モニターを付けて医療スタッフの監視下で始めることが基本です。そして、各々の病状に合わせて運動の種類、強さ、時間、頻度などを決定します。運動は強すぎても弱すぎてもよい効果が出ないため、運動処方を守って運動することが大切です。当院も、症状に合わせた運動を処方しています。

◇当院でのサポート体制

当院には、医師・看護師・薬剤師・検査技師・管理栄養士・臨床工学技士・理学療法士等で構成する心臓病サポートチームがあります。このチームでは、心臓病を有する患者さんの再発・再入院を予防し、長期予後を改善することを目的に活動しています。月2回のカンファレンスにより、治療や指導の内容など情報共有を行なっています。何か不安に思われることがあれば、いつでも相談に乗らせていただきますので、声を掛けてください。



シリーズ

認定看護師



慢性心不全看護認定看護師

萬 徳 美 穂

このたび、慢性心不全看護認定看護師の資格を取得しました。

慢性心不全は、年齢と共に発症が増加する疾患で、再入院率も高い特徴があります。心不全は完治する病気ではなく、悪化を繰り返すたび、心臓の機能は低下していきます。心不全の増悪による再入院の誘因は、服薬や減塩などの不徹底、感染症、不整脈などが言われており、悪化しないようにうまく付き合っていく必要があります。

慢性心不全看護認定看護師は、心不全の患者さんやご家族、そして患者さんのケアにあたるスタッフを支援する役割があります。私は現在、病

心臓病サポートチーム



棟で心不全の患者さんから療養生活の状況を伺い、生活のアドバイスや心不全が増悪していないかどうかの判断を行い、得た情報を主治医と共有しながら、心不全の増悪予防に努めています。

そして生活指導だけではなく、福祉サービスや社会保障の利用手続きの調整を行っています。

また、多職種からなる心臓病サポートチームに所属し、定期的にカンファレンスを行い、再入院を防ぐための検討を行っています。

心不全の患者さんは毎日血圧や体重を測定したり、減塩に気をつけたり、心機能に見合った運動や活動を行うなど、多くのことを強いられています。時には続けられなくなったり、投げ出したくなる患者さんもおられます。100%の生活はなかなかできません。そのなかで、服薬を継続できたり、減塩を継続できたり、心臓に負担がかからない方法を一緒に見つけたりと、心不全の皆さんが少しでも心身ともにいきいきと生活できるように、お手伝いしたいと思っています。





整形外科受診のみなさまへ

近年、整形外科では、手術の必要な外傷・骨折の患者さんが大変多くなっています。緊急の手術対応が増えたため、外来受診にあたり、患者さんの待ち時間が長くなる等、不便をおかけしています。外来での安心・安全な医療の提供のため、初診の方は、

①かかりつけ医を受診していただき、
地域連携予約を入れていただく

もしくは

②かかりつけ医からの紹介状を持参い
ただきようお願いいたします。

(①、②に該当しない初診の方は、診療をお断りする場合がありますのでご了承ください。) なお、救急対応の方、当院整形外科での手術に関する受診についてはこれまで通り対応いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】市立三次中央病院 医事課 / TEL (0824) 65-0101 FAX (0824) 65-0159



第8回 みよしぶどう友の会

秋のウォーキング大会 参加者募集

みよしぶどう友の会では、全国糖尿病週間に合わせて『秋のウォーキング大会』を開催します。ウォーキングで健康づくり、仲間づくり、そして糖尿病などに関する知識を深めてみませんか？

会員でなくても健康に興味・関心のある方、大歓迎です！ぜひ、お気軽にご参加ください!! (要予約)

- ◆日 時：2017年11月3日(金・祝)
12時～15時(雨天中止)
- ◆内 容：検査数値の見方のポイントについて(講義)
ウォーキング(みよし運動公園)
血糖測定(運動前後)
- ◆費 用：500円(ヘルシー弁当を用意します。)
- ◆申込み締め切り：10月27日(金)



【お申し込み・お問い合わせ】
市立三次中央病院 医事課
TEL (0824) 65-0101
FAX (0824) 65-0159

人生の節目に

「PET検診」をご利用ください

市立三次中央病院では、がんの早期発見を目的に、病巣部を速やかに診断する「PET画像」と、細かな位置情報を見つめる「CT画像」がひとつになったPET/CTによる検診を行っています。「PET検診」は短時間で一度に全身のがん検査ができ、診断の精度が向上し、より詳細な病変を検出することが可能になります。「PET検診」を人生の節目などにぜひご利用下さい。

■お申し込み・お問い合わせ
市立三次中央病院健診センター
TEL (0824) 65-0622
FAX (0824) 65-0621



検診料金 86,400円(税込)

※20歳以上の三次市民の方には市から1万円の助成があります。

お願い

救急診療等の制限にご協力ください

平成29年 10月22日(日)
8時～15時30分

電気設備点検のため、外来救急患者の診療と入院患者への面会を制限させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

【お問い合わせ】市立三次中央病院 病院企画課安全管理係
TEL (0824) 65-0101 FAX (0824) 65-0150

病院ボランティア募集

～あなたの思いやりを患者さんへ～



市立三次中央病院では、院内でボランティアとして活動していただける方を募集しています。皆さんの善意の活動をお待ちしています。

- 活動内容/外来患者さんへの支援(玄関での車の乗降の手伝い、待合での手伝いなど)
- 活動時間/月～金曜日(祝祭日を除く) 8時30分～12時のうち都合のよい時間
- 応募にあたって
 - ・交通費を支給します。(市の規定による)
 - ・ボランティア保険は当院が加入します。
- 応募・問い合わせ先/医事課医事係
TEL (0824) 65-0101 FAX (0824) 65-0159
Email: iji@city.miyoshi.hiroshima.jp